

## 【2021年度 キャリア委員会 事業報告】(案)

## キャリア委員会

委員長校 : 関西学院大学

副委員長校: 関西福祉大学、甲南女子大学、神戸国際大学

委員校: 芦屋大学、関西国際大学、甲南大学、神戸大学、神戸海星女子学院大学、神戸学院大学、  
 神戸松蔭女子学院大学、神戸親和女子大学、神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、聖和短期大学、  
 園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、姫路獨協大学、兵庫県立大学、兵庫大学、  
 兵庫大学短期大学部、流通科学大学 (計22校)

## &lt;目的&gt;

兵庫県の大学・短期大学・短期大学部・高等専門学校が加盟するコンソーシアムとして、グローバル、ローカルに活躍する人材育成を目指した事業を、県内企業、行政、加盟校キャリアセンターと共に展開する。

## &lt;内容&gt;

1. 大学連携組織を活用した県内大学生及び既卒者の地元就職促進プロジェクト  
「若者の地元密着のための就職支援事業」
2. 「県内企業の情報発信の強化」
3. 「地域産業のニーズ調査」
4. 「留学生支援プログラム(ひょうご留学生インターンシップ)」
5. 県内企業海外事業展開に係る留学生生活用事業  
「プラットフォームを活用した留学生の日本・兵庫県内での就職促進事業」
6. 地域企業経営者による実践的講座の提供  
「経営者による職業観形成プログラム」

## &lt;期待される効果&gt;

1. 地域創生の推進にあたり県外への人口流出を抑制するためには、県内企業への就職を一層促進し、大学キャリアセンターや学生及び既卒者への県内企業への理解促進に向けた取り組みを展開することで、学生や既卒者のふるさと意識の醸成が期待される。
2. 地域の活性化のためのUJIターン就職の促進が期待される。
3. 地域産業ニーズに対応した人材育成が期待できる。
4. 各加盟校単独では実施が困難だと思われる留学生に特化したインターンシップの機会を提供することで、留学生の県内企業等への就職意欲の向上が期待される。
5. 大学、行政、企業とが連携し、新たなネットワークを構築することでの受入環境づくりの促進と、卒業後の県内企業への就職の動機づけになることが期待される。
6. 学生たちが経営者層から直接理念や思いを聞き、実社会を学ぶことで、キャリア観の形成を促し、正規課程内外における学修動機の強化を図ることができる。

	実施プログラム名称	予算額
①	大学連携組織を活用した 県内大学生の地元就職促進プロジェクト 「若者の地元密着のための就職支援事業」	5,936,000円 * 受託事業収入
②	「県内企業の情報発信の強化」	0円
③	「地域産業のニーズ調査」	0円
④	「留学生支援プログラム(ひょうご留学生インターンシップ)」	400,000円
⑤	県内企業海外事業展開に係る留学生生活用事業 「プラットフォームを活用した 留学生の日本・兵庫県内での就職促進事業」	11,498,000円 * 受託事業収入
⑥	地域企業経営者による実践的講座の提供 「経営者による職業観形成プログラム」	0円
⑦	大学連携組織を活用した 県内大学生の地元就職促進プロジェクト 「若者の地元密着のための就職支援事業」(既卒者向け)	2,000,000円 * 受託事業収入

※事業計画実施の際は、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症拡大防止のため、イベントの内容・方法の変更などについて、状況に応じて委託元の兵庫県とも協議のうえ実施する。

## 【2021年度 キャリア委員会 事業報告①】

課題	地域の活性化のための県内企業就職率の向上			
達成目標	県内企業就職率:33.0%(2021年度)			
課題を解決する取組概要	<p>&lt;若者の地元密着のための就職支援事業&gt;</p> <p>兵庫県の年齢別転出超過で最も多いのは、大学卒業・就職を契機とした若者で、約2万人いる県内大学卒業者のうちの『県内企業就職率』は、3割弱に過ぎず、7割以上が県外に本社のある企業に就職している。この県内企業就職率を引き上げ、若者の県内定着を推進することで、地域の活性化を実現する。</p>			
活動指標	各取組への参加学生・教職員数:2017(平成29)年度実績をベースに毎年5%増 参加学生数:683名 教職員数:2021年度 87名(2021年度)			
報告 (結果)	<p>【兵庫県企画県民部管理局大学室 受託事業「大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト」】 &lt;2021実績&gt;活動指標(学生:683名、教職員:87名)に対し、参加学生数:761名(111.4%達成)、教職員数:123名(141.4%達成)</p> <p>I、大学キャリアセンター教職員に対する県内企業の理解促進に向けた取組</p> <p>1)キャリアセンター対象の合同企業説明会 ①2022年3月4日(金)(協業:兵庫県中小企業家同友会)参加者:(教職員)7校9名、(企業)45社90名</p> <p>2)企業とキャリアセンターとの意見交換会(計4回) ①2021年4月22日(木)(協業:神戸新聞社)参加者:(教職員)6校6名、(企業)10社19名、(行政・団体)1団体1名 ②2021年10月13日(水)(協業:神戸商工会議所)参加者:(教職員)16校22名、(企業)60社85名 ③2021年12月16日(木)(協業:淡路商工会議所)参加者:(教職員)5校6名、(企業)9社10名 (行政・団体)2団体6名 ④2022年2月21日(月)*ハイブリッド(協業:丹波県民局)参加者:(教職員)16校16名、(企業)16社16名 (行政・団体)5団体7名</p> <p>3)県内企業魅力発見バスツアー(計5回) → COVID-19感染防止のため動画作成に変更 閲覧数(3/18現在) ①②2021年8月(淡路方面)&lt;関西学院大学経済学部と連携:参加学生1校4名、企業4社10名&gt; 閲覧数:418回 ③④2021年3月(但馬方面)&lt;神戸学院・甲南女子大学と連携:参加学生2校5名、教職員1校1名、企業5社7名&gt; 閲覧数:102回 ⑤2021年3月(播磨方面)&lt;関西学院・神戸・流通科学大学と連携:参加学生3校9名、企業4社8名&gt; 閲覧数:268回</p> <p>II、大学生に対する県内企業の理解促進に向けた取組</p> <p>1)経営者による職業観形成プログラム(計2回) ①2021年11月25日(木)*オンライン:もやもやしている人のお悩み大相談会 参加者:(学生)26校47名、(教職員)1校1名、(企業)12社12名 (行政・団体)2団体2名 ②2022年1月22日(土) *オンライン:オンライン座談会 参加者:(学生)延べ16大学114名、(教職員)2校2名、(企業)17社28名 ③2022年3月4日(金)(協業:兵庫県中小企業家同友会)参加者:(学生)45校172名、(企業)45社90名</p> <p>2)若手社員による学生啓発プログラム(計4回) ①2021年4月22日(木)参加者:(学生)35校61名、(企業)10社19名、(行政・団体)1団体1名 ②2021年8月17日-12月21日(火)5回 参加者:(学生)延べ4校46名、(教職員)延べ8校27名、(企業)延べ15社57名、(行政)1名 ③2022年1月22日(土) *オンライン:合同模擬グループディスカッション 参加者:(学生)18校70名、(教職員)13校14名、(企業)18社29名 ④2022年1月22日(土) *オンライン:面接大作戦 参加者:(学生)18校70名、(教職員)13校14名、(企業)18社29名</p> <p>III、既卒者向けプログラム ①2021年10月14日(木) KOBEOジョブフェア 参加者(学生)37校55名(企業)18社36名 ②2021年11月8日(月)兵庫の企業セレクション 参加者:(学生)9校11名、(既卒者)14名、(教職員)6校6名、(企業)10社20名 ③2021年11月25日(木) *オンライン:Uターン×キャリア パネルディスカッション 参加者(学生)26校45名、(既卒者)2名、(教職員)1校1名、(企業)13社13名、(行政・団体等)2団体2名 ④2021年12月20日(月) *ハイブリッド:学生・若手×起業家! 参加者:(学生)22校52名、(教職員)3校4名、(企業)11社13名、(行政・団体)3団体4名</p>			
新しい試み等 (事業計画に記載)				
事業収支	収入	支出	収支	備考
	5,936,000円	5,936,000円	0円	

自己評価 【12/1:第4回委員会 メール審議時内容】	【対到達目標】	3	【対継続性】	4
	<p>&lt;達成目標&gt;県内企業就職率 33%</p> <p>&lt;活動指標&gt;各取組への参加学生数:2017年度実績(562名)の毎年5%増 2021年度:683名 教職員数:87名(2021年度)</p> <p>&lt;2021実績&gt;県内就職率29.8%(2020年度)のため道半ばではあるが、活動指標となる参加学生数に関しては、1月末時点の参加学生数:582名、教職員数:99名、そして今後開催イベントでの参加見込み学生:約110名、教職員16名のため、目標値(学生:683名、教職員:87名)は達成できる見込みである。</p> <p>I、大学キャリアセンター教職員に対する県内企業の理解促進に向けた取組 キャリアセンター職員は、企業と学校が一同に会える場において企業開拓と企業理解を同時に行えるのが大きな利点であり、学生支援に幅を持たせることができようになる。また、県内優良企業を直接訪問する機会を通してその存在を知り、このことが、意識変化や支援の幅の広がりにつながった。他大学教職員や企業採用担当者との交流及び企業現場訪問の機会も有意義であり、情報交換や相談の場の提供にもなった。</p> <p>II、大学生に対する県内企業の理解促進に向けた取組 県内大学に所属する学生たちが、経営者や若手社員との交流を通して様々な視点を持つことで、県内企業や県内で就職するメリットを感じ、県内企業への就職の可能性を見出した。また、すぐに就職活動への行動を起こした学生もいるなど、次へのアクションへのきっかけを提供できた。また、社長の参加がある企業からは経営者の熱い想いを直接受け取り、会社の存在意義や今後の発展に必要な考え方、若い力の必要性などを学べた。さらに、単に企業紹介だけでなく、社会人としての働き方についてじっくり話ができる機会にもなった。事後アンケート結果でも「県内企業への理解や興味は深まった」77%となっている。また、県内優良企業動画配信についても、その視聴がきっかけとなって内定に繋がる事例が実際に見られていることから、これらの事業を通して学生たちの県内企業への理解や興味関心が深まり、県内企業就職への可能性が見出せているという点において目的を達成できたと考える。</p>			

■自己評価基準  
(対到達目標)

- 4:当初計画を上回って達成  
3:当初計画を達成  
2:当初計画をやや下回った  
1:当初計画を下回った

■自己評価基準  
(対継続性)

- 4:本プログラムは継続すべき  
3:本プログラムは継続しても良い  
2:本プログラムの継続には改善が必要  
1:本プログラムは中止すべき

理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に反映)	<p>・新型コロナ禍により、県内企業魅力発見バスツアーは動画配信に変更したが、「情報発信」という観点では「動画」により、いつでも、どこからでも容易に見ることができ、優れた効果がみられた。</p> <p>・産業界からもオンライン交流の機会の増加を望む声があり、対面に加えオンライン交流や情報発信を組み合わせ事業を行っていただきたい。</p> <p>・来年度の事業の受託に向けて準備を進めていただきたい。</p>
--------------------------------	--

## 【2021年度 キャリア委員会 事業報告②】

課題	地域の活性化のためのUJIターン就職の促進			
達成目標	情報公開する企業数:100社(2021年度)			
課題を解決する取組概要	<p>&lt;県内企業の情報発信の強化&gt;          ひょうご産官学連携協議会に参画している地域の産業界の協力を得て県内企業情報を収集し、大学プラットフォーム(大学コンソーシアムひょうご神戸)HPにおいて公表し、兵庫県のUJI ターンの職業紹介等のHP との連携を図る。</p>			
活動指標	情報公開する企業数:15社(2021年度)			
内容 (結果)	<p>&lt;2021実績&gt; 活動指標:15社掲載に対し、27社掲載(180%達成)</p> <p>「地元で働こう! 兵庫県内企業情報サイト」に随時情報公開。          《掲載内容》 業種、資本金、売上高、従業員数、本社所在地、事業内容、経営方針、特色・強み、採用情報(企業HPへリンク)          ※2021年3月までに兵庫県内協力企業111社掲載済。</p> <p>※今年度新規情報公開企業:27社          キャリア委員校12校より33社が推薦され、12月のメール審議を経て承認。そのうち27社からの掲載承諾を受け、前年度までの分と合わせた138社の兵庫県内協力企業情報を、2/14より掲載中。</p>			
新しい試み等 (事業計画に記載)				
事業収支	収入	支出	収支	備考
	0円		0円	

自己評価 【12/1:第4回委員会 メール審議時内容】	【対到達目標】 4	【対継続性】 4
	<p>&lt;達成目標&gt; 情報公開する企業数:2021年度までに100社          &lt;活動指標&gt; 情報公開する企業数15社(2021年度)          &lt;2021年度実績&gt; 15社追加掲載に向けて準備をすすめており、達成できる見込みである。</p> <p>キャリア委員会に所属する22大学と連携し、企業開拓を行っている。具体的には、各大学において、過去10年間にOB・OGを輩出している県内企業を選定し、事務局に推薦頂いたものを、委員会にて審議し、掲載している。そのため、信用度も高く、コンソーシアムならではのオリジナルな情報の提供に繋がっている。2021年度の達成目標に向けて着実な成果を上げることができている。</p>	

■自己評価基準  
(対到達目標)

- 4:当初計画を上回って達成  
 3:当初計画を達成  
 2:当初計画をやや下回った  
 1:当初計画を下回った

■自己評価基準  
(対継続性)

- 4:本プログラムは継続すべき  
 3:本プログラムは継続しても良い  
 2:本プログラムの継続には改善が必要  
 1:本プログラムは中止すべき

理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)	<p>・現状の枠組みで既に達成目標を大幅に超えていることから、次年度は、対象を拡大した留学生採用実績のある企業情報の掲載なども検討を進めて頂きたい。</p>
----------------------------	--

## 【2021年度 キャリア委員会 事業報告③】

課題	地域産業ニーズに対応した人材育成		
達成目標	地域産業ニーズをまとめた資料をHPで閲覧、もしくは資料配布を受けた学生数：10,000名(2021年度までののべ数)		
課題を解決する取組概要	<p>&lt;地域産業のニーズ調査&gt;          ひょうご産官学連携協議会に参画している地域の産業界の協力を得て、県内企業が求める人材、大学において習得すべき知識・技能についての情報を収集し、大学プラットフォーム(大学コンソーシアムひょうご神戸)HPにおいて公表するとともに、大学、企業との情報共有の場を設ける。</p>		
活動指標	産業界と大学キャリア担当者の情報交換会の開催：6回開催(2021年度) 地域産業ニーズをまとめた資料の作成・配布：3000名(2021年度)		
内容 (結果)	<p>&lt;2021実績&gt; 活動指標：6回開催に対し、6回開催(100%達成)          2021年度6回(①2021年4月22日、②2021年9月18日、③2021年10月13日、④2021年12月16日、⑤2022年2月21日、⑥2022年3月4日)</p> <p>①企業の人材確保状況(面接数、内定数、採用数等)や求める人材像、大学において習得すべき知識・技能について行った調査結果を分析し、HP公開を行う。          ②公開内容について、各プログラム参加学生に資料として配布する。          配布数：3,842名 * 3月末現在(2020年度までの配布実績35,043名)          HP閲覧数：4,996 * 3月末現在(2020年度までの閲覧数：16,018)          ③公開内容に基づいて、大学、企業との情報共有の場として年6回情報交換会を開催。</p>		
新しい試み等 (事業計画に記載)			
事業収支	収入	支出	収支
	0円		0円
自己評価 【12/1:第4回委員会 メール審議時内容】	【対到達目標】	4	【対継続性】
			4
	<p>&lt;達成目標&gt; 地域産業ニーズをまとめた資料の閲覧・配布学生数 10,000名          &lt;活動指標&gt; 情報交換会開催：6回(2021年度)          閲覧・配布数：3,000名          情報交換会は、6回実施、また閲覧・配布数も2021年度のみで4,320名であり、達成目標値を大幅に上回っている。</p>		
■自己評価基準 (対到達目標)	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った	■自己評価基準 (対継続性)	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき
理事会からの 改善提案 (次年度事業計画 に反映)	・情報収集・発信の在り方を、引き続き加盟校と連携して取り組んでいただきたい。		

## 【2021年度 キャリア委員会 事業報告④】

課題	“ひょうご神戸”の国際性を活かしたグローバル人材育成			
達成目標	本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の80%以上（期間中に2回測定）			
課題を解決する取組概要	＜留学生支援プログラム（ひょうご留学生インターンシップ）＞ 個別大学では実施が困難な留学生に特化したインターンシップの機会提供を共同で実施し、留学生の県内企業等への就職意欲の向上を図る。参加留学生のニーズを勘案のうえ、受入企業、団体等を決定する。			
活動指標	参加者数：10大学・35名以上（最大40名）/年 受入企業・団体等数：20企業・団体以上/年			
内容（結果）	<p>＜2021年度実績＞ 活動指標：実習生：9大学29名（82.8%達成）受入企業・団体数：13（65%達成） 達成目標：国際理解が深まったことを実感する学生の割合80%に対し100%（125%達成）</p> <p><b>留学生支援プログラム（ひょうご留学生インターンシップ）</b> 個別大学では実施が困難な留学生に特化したインターンシップの機会提供を共同で実施し、留学生の県内企業等への就職意欲の向上を図る。参加留学生のニーズを勘案のうえ、受入企業・団体等を決定。</p> <p><b>【プログラムスケジュール】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語能力試験N1①②③ 6月5日（土）＊オンライン開催</li> <li>・推薦学生ガイダンス 6月9日（水）＊オンライン開催</li> <li>・推薦学生と企業の交流会 6月12日（土）＊オンライン開催</li> <li>・事前面談 6月17日（木）～19日（土）＊オンライン開催</li> <li>・オリエンテーション・事前研修 6月26日（土）＊オンライン開催</li> <li>・事前訪問 7月中旬～9月上旬</li> <li>・企業・団体実習期間 8月2日（月）～9月17日（金）＊オンライン開催 ＊緊急事態宣言解除後に対面実習実施企業：6社</li> <li>・事後研修・報告会・修了交流会 9月18日（土）＊オンライン開催</li> </ul> <p><b>【修了生数】</b> 9大学29名（神戸大学（10）、関西学院大学（6）、流通科学大学（5）、芦屋大学（3）、関西国際大学（1）、神戸芸術工科大学（1）、神戸松蔭女子学院大学（1）、神戸国際大学（1）、兵庫県立大学（1）） <b>【受入企業数】</b>13社（うち新規受け入れ先5社）</p>			
新しい試み等（事業計画に記載）				
事業収支	収入	支出	収支	備考
	400,000円	0円	400,000円	※インターンシップを、県受託事業の一環としても実施し、受託予算から費用を捻出したため。
自己評価 【12/1：第4回委員会 メール審議時内容】	【対到達目標】 3		【対継続性】 4	
	<p>＜達成目標＞国際理解が深まったことを実感する学生：80% ＜活動指標＞参加者数：10大学・35名/年、受入企業・団体等数：20企業・団体以上/年 ＜2021年度実績＞実習生：9大学30名、受入企業・団体数：13 本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の100%</p> <p>平成22年度より現行の枠組みで実施しており（平成21年度は試行的に実施）、今年度で13年目を迎えた。12年間で488名の修了生を輩出し、その6割以上が日本で就職しており、日本での就職を希望する留学生にとって意義のあるプログラムとなっている。参加条件は一定の日本語能力（日本語能力検定1級取得もしくは1級相当）としており、面談により意欲がある学生を選考しており、人数はプログラムの質確保の観点から、10大学35名と設定したが、今年度は昨年度から続くCOVID19感染拡大の影響もあり、また実習期間である8-9月に関西圏に緊急事態宣言が発出された影響から、プログラム開始後の申込学生および受入企業からの辞退も相次いだ。最終的には9大学から9か国・地域30名の学生が参加し、13企業・団体での実習が実施された。報告会には受入企業（10社）や加盟校関係者が多数出席していただき、受入企業からも高い評価を得ている。また、参加した留学生の意識の向上も認められ、当初期待以上の効果を上げることができた。</p> <p>次年度も、学生推薦のステップにおいて、推薦大学からの理解と協力をえて連携を更に深めた上で、プログラム推進に励みたい。</p>			
■自己評価基準 （対到達目標）	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った		■自己評価基準 （対継続性）	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき
	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき			
理事会からの改善提案（次年度事業計画に反映）	<p>・今年度緊急事態宣言発出に伴い、研修だけではなく、就労体験もオンラインで実施するインターンシッププログラムを作り上げた功績は大きい。</p> <p>・今後は対面、オンライン、ハイブリッド等、実施方法の検討も含め、本コンソの基幹プログラムの一つとして、来年度もぜひ継続していただきたい。</p>			

【2021年度 キャリア委員会 事業報告⑤】

課題	“ひょうご神戸”の国際性を活かしたグローバル人材育成			
達成目標	本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の80%以上(期間中に2回測定)			
課題を解決する取組概要	＜プラットフォームを活用した留学生の日本・兵庫県内での就職促進事業＞ 大学、行政、企業が連携し、新たなネットワークを構築することでの 受入環境づくりの促進と、卒業後の県内企業への就職の動機付けを図る。			
活動指標	参加留学生：100名以上／年			
内容 (結果)	<p>【兵庫県産業労働部国際局国際交流課 受託事業「県内企業海外事業展開に係る留学生活用事業」】          ＜2021実績＞活動指標：参加留学生100名以上/年に対し、1339名(134%達成)</p> <p>1) 留学生向け・合同企業説明会 *オンライン開催          ①2021年6月23日(水)・24日(木) 参加者：(学生)890名(加盟校12校110名)、(企業)25社</p> <p>2) 日本語能力試験N1集中講座(計3回) *オンライン開催          ①②③2021年6月5日(土) 参加者：(学生)7校79名、(企業)1社3名</p> <p>3) ビジネス日本語講座(計4回) *全てオンライン開催          ①2021年5月25日(火) 留学生のための就活Webセミナー1 「外国人留学生のためのオンライン就職セミナー」          参加者：(学生)22校96名(加盟校11校55名)、(大学)3校5名(加盟校1校1名)、(企業)1社1名、(行政・団体)1団体1名          ②2021年6月9日(水)「インターンシップ修了生との懇談会」 参加者：(学生)9校42名、(行政・団体)1団体1名          ③2021年6月26日(土)「ビジネスマナー研修」 参加者：(学生)10校32名、(企業)1社1名          ④2021年7月10日(土) 留学生のための就活Webセミナー2 「外国人留学生の就業意義と可能性～セミナー&amp;パネルディスカッション～」          参加者：(学生)19校33名(うち加盟校5校13名)、(大学)4校4名、(うち加盟校2校2名)、(企業)4社4名</p> <p>4) 就職活動Q&amp;A講座(計4回) *全てオンライン開催          ①2021年6月9日(水)「インターンシップガイダンス」 参加者：(学生)9校40名、(行政・団体)1団体1名          ②2021年6月12日(土)「推薦学生と企業の交流会」 参加者：(学生)9校38名、(企業)11社16名          ③2021年7月10日(土) 留学生のための就活Webセミナー3 「外国籍社員との交流会」          参加者：(学生)19校33名(うち加盟校5大学13名)、(大学)4校4名、(加盟校2校2名)(企業)4社4名          ④2021年9月18日(土)「インターンシップ報告会」          参加者：(学生)9校29名、(大学)10校11名、(企業)11社18名、(行政・団体)1団体1名</p> <p>5) 県内先端産業・科学技術施設及び企業見学会 *Covid-19感染拡大のため動画による企業紹介に変更。          12月撮影 参加学生：2大学9名 2022年3月配信 閲覧回数：268回(2022年3月18日現在)</p> <p>6) 但馬方面企業見学バスツアー *Covid-19感染拡大のため動画による企業紹介に変更。          12月撮影、参加学生：2大学5名 2022年3月配信 閲覧回数：102回(2022年3月18日現在)</p> <p>7) グローバル人材育成セミナー *オンライン開催          ① 2021年6月30日(水)「グローバル企業で働くって? ～キャリアは自分で作るもの～」          参加者：(学生)14校100名(うち加盟校12校90名、うち留学生27名)、(大学)2校2名、(企業)4社14名</p> <p>8) 兵庫県で活躍する外国籍社員動画          ①商社編(TAT) 2021年5月配信 閲覧数419回 (2022年3月18日現在)          ②メーカー編(バンドー化学) 2021年5月配信 閲覧数581回 (2022年3月18日現在)          ③製造小売編(ロック・フィールド) 2021年8月配信 閲覧数358回 (2022年3月18日現在)</p> <p>9) 大学と企業との意見交換会の開催 *オンライン開催          ①2021年9月18日(土)「インターンシップ意見交換会」 参加者：(大学)10校11名、(企業)11社18名、(行政・団体)1団体1名</p> <p>※「ひょうご留学生インターンシップ(キャリア委員会事業)」も国際交流課受託事業となります。</p>			
新しい試み等 (事業計画に記載)				
事業収支	収入	支出	収支	備考
	11,498,000円	11,498,000円	0円	

自己評価 【12/1:第4回委員会 メール審議時内容】	【対到達目標】	4	【対継続性】	4
	<p>＜達成目標＞国際理解が深まったことを実感する学生：80%          ＜活動指標＞参加留学生：100名以上/年          ＜2021年度実績＞参加留学生数：1339名(11月末現在)          本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の91%</p> <p>①合同企業説明会          コロナ禍2年目で合同企業説明会の開催が少ない中、オンラインでの説明会を実施し、多くの留学生が参加した。</p> <p>②日本語能力試験N1集中講座          日本語能力試験N1試験前に、プロの日本語講師から効率的な読解方法等の対策を学ぶことで、試験に向けた勉強方法を体得することができた。また、試験対策だけでなく、就職活動、入社後にも使える日本語のレクチャーを受けたことで日本で働く準備、心構えも同時に行う契機となった。</p> <p>③ビジネス日本語講座／④就職活動Q&amp;A講座          日本で就職するために必要となる日本独特のビジネスマナー、ビジネス日本語を学び、自分自身の今の能力を認識し、日本企業への就職の実態を聞くことで、日本で働くことへの理解が深まり、これから具体的に自身が何をすべきかを考える機会となった。</p> <p>⑤⑥先端産業・企業見学バスツアー          コロナ禍で現地見学ツアーが困難となったため、企業紹介する動画を作成し、コンソHPにて広く公開することにした。動画の企画・撮影・編集については関西学院大学や神戸学院大学等の学生が関わり、学生の企業研究機会提供の場ともなった。</p> <p>⑦グローバル人材育成セミナー          世界で活躍する「グローバル人材」となるために必要な能力・知識・マインドなどを、実際に外資系企業で働く方との対話を通して理解する機会となった。</p> <p>⑧大学と企業との意見交換会          オンラインでの開催となったが、大学と企業が共に外国人留学生の特性を理解し、企業で活躍するための指導と受け入れ体制づくりに          ついて情報交換する時間となった。</p>			

■自己評価基準 (対到達目標)	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った	■自己評価基準 (対継続性)	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき
--------------------	--	-------------------	--

理事会からの 改善提案 (次年度事業計画 に反映)	・低学年から卒業までを見据えた、継続的で段階的な支援体制づくりをすることで、留学生のニーズにより広く応えられるプログラムを提供が実現できるよう来年度の事業の受託に向けて準備を進めていただきたい。
------------------------------------	---

## 【2021年度 キャリア委員会 事業報告⑥】

課題	地域企業経営者による実践的講座の提供		
達成目標	プログラム参加学生数:300名(2021年度)までののべ数)		
課題を解決する取組概要	<p>&lt;経営者による職業観形成プログラム&gt;          ひょうご産官学連携協議会に参画している地域の産業界の協力を得て、企業経営者を講師として講座を開講する。経営者の理念や思いをお聞きし、実社会を学ぶ。ICTを活用した教育の推進も検討する。</p>		
活動指標	地域の企業経営者によるセミナーの開催 2回(2021年度)		
内容 (結果)	<p>&lt;2021実績&gt; 活動指標:2回開催に対し、2回開催(100%達成)</p> <p>県内中小企業の経営者が、地域に根差した先進的・実践的な自社の取組や課題解決事例等、直接学生に講話し、学生の地元意識の高揚を図る。</p> <p>①2021年11月25日 *オンライン開催: もやもやしている人のお悩み大相談会          参加者:(学生)26校47名(教職員)1校1名(企業)13社13名(行政等)2団体2名</p> <p>②2022年1月22日 *オンライン開催: オンライン座談会          参加者:(学生)延べ16校114名(座談会2回) 企業:17社28名 教職員:2校2名</p> <p>* 2020年度までの参加学生実績 591名          * セミナー実施回数 13回</p>		
新しい試み等 (事業計画に記載)			
事業収支	収入	支出	収支
	0円		0円
			備考

自己評価 【12/1:第4回委員会 メール審議時内容】	【対到達目標】 4	【対継続性】 4
	<p>&lt;達成目標&gt;参加学生数:300名(2021年度までの延べ数)</p> <p>&lt;活動指標&gt;地域の企業経営者によるセミナーの開催:2回(2021年度)</p> <p>&lt;2021年度実績&gt;2回開催</p> <p>①2021年11月25日開催予定</p> <p>②2022年1月22日開催予定</p> <p>※2021年度も引き続き Covid-19感染拡大防止の観点から、テレビ会議システムZoomを活用することで、遠隔地に滞在中の講師と学生をつなぎ、講座を受講できるネットワーク環境を準備した。</p>	

■自己評価基準  
(対到達目標)

- 4:当初計画を上回って達成  
 3:当初計画を達成  
 2:当初計画をやや下回った  
 1:当初計画を下回った

■自己評価基準  
(対継続性)

- 4:本プログラムは継続すべき  
 3:本プログラムは継続しても良い  
 2:本プログラムの継続には改善が必要  
 1:本プログラムは中止すべき

理事会からの 改善提案 (次年度事業計画 に反映)	・大学生の気質や将来への考え方の変化を捉え、学生のニーズ等を検証のうえ、引き続き取り組んでいただきたい。
------------------------------------	--

【2021年度 キャリア委員会 事業報告⑦】

課題	地域の活性化のための県内企業就職率の向上		
達成目標	県内企業就職率:33.0%(2021年度)		
課題を解決する取組概要	<p>&lt;若者の地元密着のための就職支援事業&gt;          兵庫県の年齢別転出超過で最も多いのは、大学卒業・就職を契機とした若者で、約2万人いる県内大学卒業者のうちの『県内企業就職率』は、3割弱に過ぎず、7割以上が県外に本社のある企業に就職している。この県内企業就職率を引き上げ、若者の県内定着を推進することで、地域の活性化を実現する。</p>		
活動指標	既卒者を含むキャリアセミナーを開催 4回(2021年度)		
内容 (結果)	<p>【兵庫県企画県民部管理局大学室 受託事業          「大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト」(既卒者向け)】          &lt;2021実績&gt; 活動指標:4回開催に対し、4回開催(100%達成)</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、企業説明会の中止やオンライン面接への移行に加え、企業が採用を抑制するなど環境変化により就職に困窮する既卒者や大学生・大学院生を支援するため、合同企業説明会や就職セミナーを開催</p> <p>①2021年10月14日 :KOBESHOPフェア          参加者:37校55名(うち(学生)27名、(既卒)28名)、(企業)18社</p> <p>②2021年11月8日 :兵庫の企業セレクト          参加者:(学生)9校11名 (既卒)14名 (企業)10社</p> <p>③2021年11月25日 :Uターン×キャリア パネルディスカッション *オンライン開催          参加者:(学生)26校47名 (教職員)1校1名 (企業)13社13名 (行政・団体)2団体2名</p> <p>④2021年12月20日 :学生・若手×起業家!多様なキャリアを考える交流会 *ハイブリッド開催          参加者:(学生)52名(うち大学等21校48名、高等学校1校3名、小学校1校1名)          (教職員)3校4名 (企業)11社11名 (行政)3団体4名 (その他)2名</p>		
新しい試み等 (事業計画に記載)			
事業収支	収入	支出	収支
	2,000,000円	2,000,000円	0円
			備考

自己評価 【12/1:第4回委員会 メール審議時内容】	【対到達目標】	3	【対継続性】	3
	<p>&lt;達成目標&gt; 県内企業就職率 33%          &lt;活動指標&gt; 既卒者を含むキャリアセミナーを開催 4回程度(2021年度)          &lt;2021実績&gt; 4回開催</p> <p>①2021年10月14日 参加者:(学生)27名、(既卒)28名、(企業)18社          ②2021年11月8日 参加者:(学生)8校14名、(既卒)12名、(企業)10社          ③2021年11月25日 *オンライン開催予定          ④2021年12月20日 開催予定</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大によって企業の採用動向に大きな変化が生じた結果、採用人数の抑制による新卒就労困難者の増加だけでなく、web採用後のミスマッチによる早期離職者などが多く見られている。合同企業説明会では、学生以外にも多様な求職者や転職・Uターン希望者の参加があり、企業説明会後に会社見学会への参加に繋がった会社もあるなど、企業と求職者双方の要望に答える機会となった。一方で、既卒者への広報手法の改善や、参加層が広くなりすぎることから生じるミスマッチ防止策の検討が今後の課題として残った。就職セミナーにおいては、多様な仕事の仕方や生き方をしている先輩たちと実際に会い話を聞くことで、参加者の視野が広がり、自己理解と県内企業理解が深まる機会を提供できた。</p>			

- |  |   |
|--|---|
| <p>■自己評価基準<br/>(対到達目標)</p> <p>4:当初計画を上回って達成<br/>         3:当初計画を達成<br/>         2:当初計画をやや下回った<br/>         1:当初計画を下回った</p> | <p>■自己評価基準<br/>(対継続性)</p> <p>4:本プログラムは継続すべき<br/>         3:本プログラムは継続しても良い<br/>         2:本プログラムの継続には改善が必要<br/>         1:本プログラムは中止すべき</p> |
|--|---|

理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)	<p>・既卒者へのアプローチが難しいと思われるが、外部の既卒者支援組織等との協力体制づくり、ミスマッチ防止策の検討を必要に応じて行って頂きたい。</p>
----------------------------	--